

News Release

2015年7月23日
一般社団法人 日本電機工業会 (JEMA)

重電機器受注生産品の受注実績 2015年度「第 I 四半期(4-6月)」

JEMA では、わが国の重電産業に関する基礎資料のうち、重電機器の受注動向及び需要者(業種)別の市場動向等を通して重電産業の動向を把握して頂くために、JEMA 会員独自で実施している重電機器の自主統計を一般に公表しております。ここに、重電機器受注生産品の2015年度「第 I 四半期」の受注実績を公表致します。

2015年度 第 I 四半期(4-6月)の概要

【概況】

第 I 四半期の受注額は 3,567 億円(前年度同期比 88.8%)と、内需は前年同期を上回ったものの、外需が前年同期を下回り、受注額全体として前年同期比割れとなった。

(* 以下、前年度同期比は「同」と略記)

【需要者別動向】

■ 内需

内需は 2,601 億円(同 102.0%)となった。非製造業が前年同期並み、製造業及び官公需は前年同期を上回った。

- 非製造業は 1,610 億円(同 100.0%)となった。大口需要先である電力業は前年同期を下回ったものの、運輸業・郵便業・通信業の増加が寄与し、前年並みとなった。
- 製造業は 629 億円(同 108.3%)となった。主要需要先でみると、鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信が前年同期比 2 桁増となり、自動車も堅調に推移している。
- 官公需は 322 億円(同 101.4%)となった。大口需要先である地方公務が前年同期を上回った。

■ 外需

外需は 966 億円(同 65.8%)となった。前年同期に大口案件があり変圧器、制御装置の水準が高くなっていたことにより、前年同期比が大幅な減少となった。例年年度初は前四半期より低いスタートとなるが、本年も若干低いスタートとなった。

【製品別動向】

- ・交流電動機は 463 億円(同 160.0%)となった。設備投資の回復により内需向けが増加している。
- ・制御装置は 479 億円(同 62.1%)となった。前年同期の外需向けの水準が高かったことで大幅な前年同期比割れとなったものの、内需向けは堅調である。

■ 対象(重電機器受注生産品)

ユーザより注文を受け、個別の仕様で製造する製品群である受注生産品を調査対象としております。

- ・需要者(業種)は主に電力業や鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信機械、自動車などの主要製造業及び官公需等であります。
- ・重電機器の主要製品は、回転機(発電機、交流電動機)、静止・開閉器(電力変換装置、変圧器、遮断器、配電装置、制御装置)等であります。

■ 公表の内容

重電機器受注生産品全体の受注実績額、内需の需要者(業種)別、外需などを把握することで、国内外の受注動向および市場動向を把握することができます

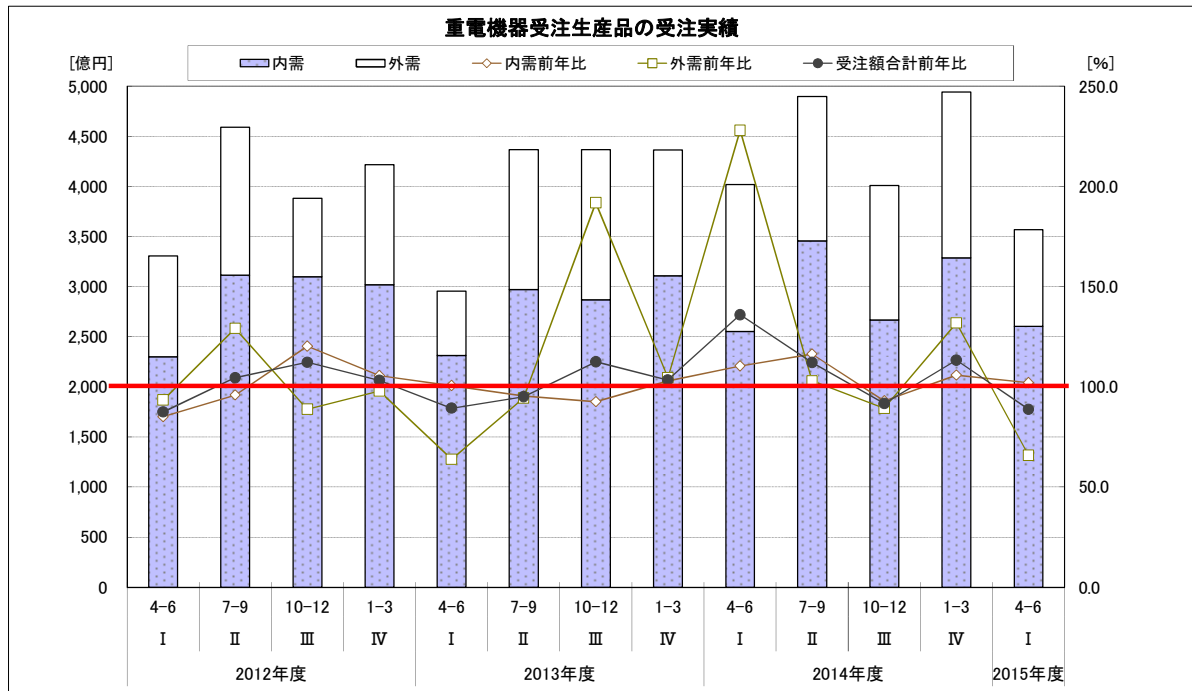
また、重電機器受注生産品の受注実績は、需要者(業種)別の設備投資の状況等を把握できますので、景気動向の先行指標として活用ができます

■ 公表の形態

- ・JEMA 会員独自で実施している自主統計を四半期毎に公表致します。

■四半期実績の推移

【受注実績:内需+外需】



【内需内訳】

